

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年3月12日

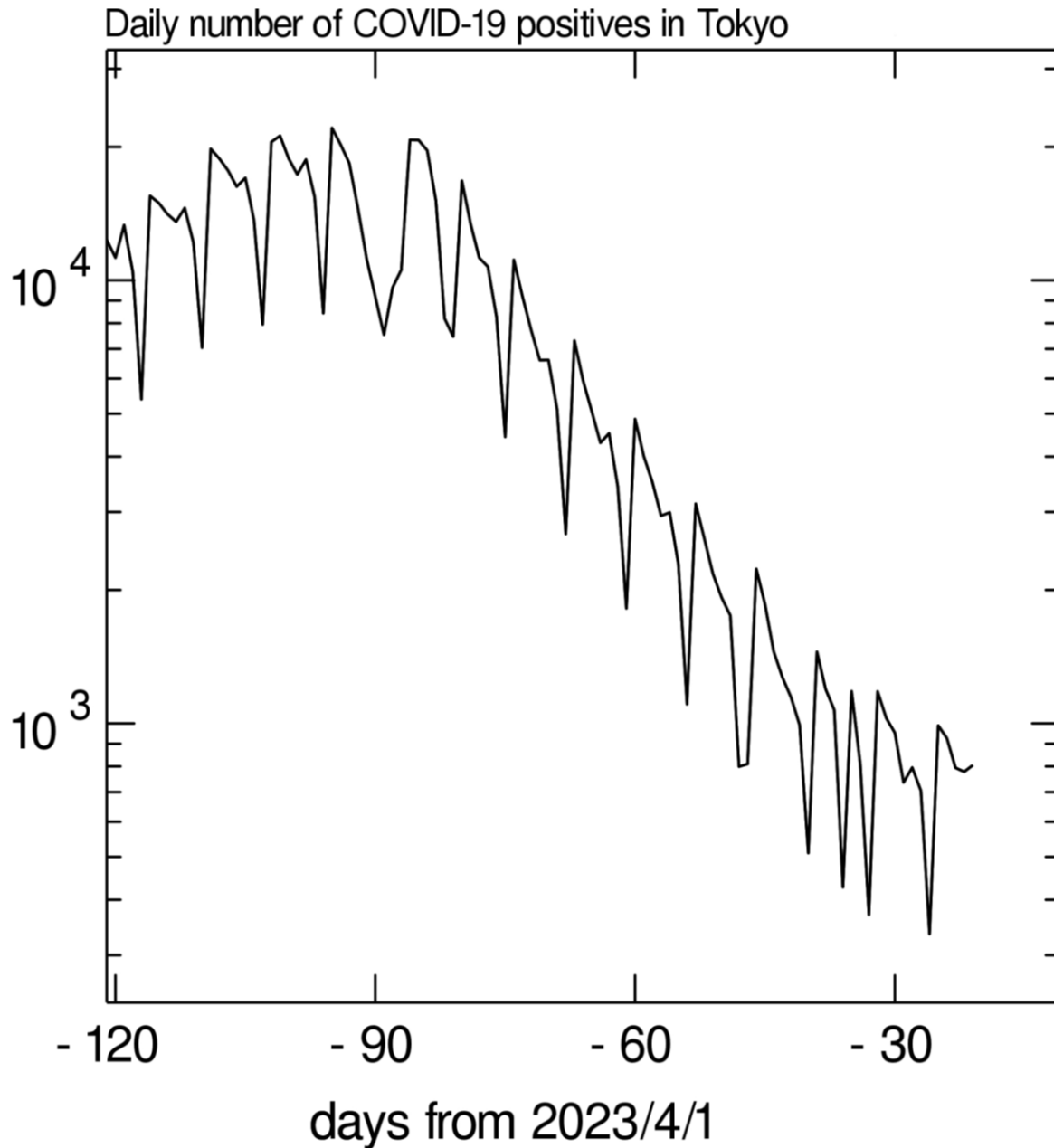
1. 牧野淳一郎先生のTw:東京の新規感染者数が下げ止まり、第9波が始まる予感
2. BMJニュース：ラテンアメリカは、輸入医薬品依存を減らすべきだ

## 【松崎雑感】

半対数グラフで新規感染者数をプロットすると、減少傾向化増加傾向化がわかりやすいのですが、牧野淳一郎先生のTwでは、8波が底を打ち、9波に向けて感染者が増えるのではないかという予想をしています。油断なくフォローする必要があります。

牧野淳一郎先生のTw:

東京の新規感染者数が下げ止まり、第9波が始まる予感



[Jun Makino on Twitter: "東京の新規感染者の推移。先週、今週はこれまでとは明らかに傾向が変わっている。まあ理論的には第9波がこない理由はなにもないのでまあ。"](https://t.co/8aBCip9h3R) / Twitter

## ラテンアメリカは、輸入医薬品依存を減らすべきだ

Taylor L. Covid-19: Latin America must reduce its reliance on medical imports. *BMJ*. 2023;380:p576. Published 2023 Mar 10. doi:10.1136/bmj.p576

汎米保健機構（PAHO）の高官は、3月10日の記者会見で、COVID-19パンデミックを収束させようと思うなら、南北アメリカとカリブ海諸国は、COVID-19のサーベイランスとワクチン接種を強化する必要があると語った。

「今回のパンデミックで明らかになった重要な教訓のひとつは、ラテンアメリカとカリブ海諸国の感染対策上の弱点を克服する必要があるということだ」とPAHO代表ジャルバス・バルボサ氏は語った。

南アメリカ諸国は、豊かな国にワクチンを独占されたため、ワクチン接種が非常に遅れてしまった。世界的需要が落ち着き品薄が解消されたのち、PAHOが仲介したCovax機構を活用して何とか1億6千万人分のワクチンを確保した。

南北アメリカのワクチン接種率は71%に達し、WHO地域中2番目の高率となり、感染率は昨年の20～30分の1まで減っている。

このような前進にもかかわらず、バルボサ氏は、COVID-19が吹き荒れている地域が多いと記者団に語った。

「このウイルスはコントロール可能な状態となっていない。先月でさえ南北アメリカの感染者は150万人、死亡者は1万7千人に達している」と。

COVID-19の感染拡大阻止には至っていないが、この地域では感染者の1～2割に上るロングコロナの問題に重点を移す必要があると、バルボサ氏は述べた。

さらに、COVID-19だけでなく、今後流行するおそれのある病原体のサーベイランスも並行して行う必要があるという。

事実、ペルーで鳥から哺乳類に感染する鳥インフルエンザウイルスが発見されたばかりである。

バルボサ氏は、この地域が将来のパンデミックにしっかり対処できるようになるためには、医薬品を自給できるようにしなければならいと語った。

ラテンアメリカとカリブ海諸国は、現在医薬品輸入量が輸出量の10倍となっている。これは豊かな国のお情けでこの地域の国々が助けられていることを示す。

アルゼンチン、キューバ、メキシコなどの研究機関で行われてきたワクチン開発へのサポートを引き続き継続する必要がある。

キューバでは、いくつかの国産ワクチンを開発しており、PAHOはそのうち2種類のmRNAワクチンの開発プロジェクトを支援すると決めた。

一つはアルゼンチンの民間コンソーシアム、もう一つはブラジルの公衆保健機関Fiocruzが協力している。

バルボサ氏は、これらの協力は、コロナウイルスなど様々な新興ウイルス感染症を防ぐための、南北アメリカの連帯精神を体現するイニシアティブであると語った。